

大会名称: 第18回全国障害者スポーツ大会 バasketボール競技
(福井しあわせ元気大会)

開催場所: 勝山市体育館「ジオアリーナ」Aコート

試合区分: No. 19 男子 決勝

期 日: 2018(H30)年10月14日(日)

開始時間: 16:10

終了時間: 17:40



主審: 仲埜 弘幸(福井県)

第1副審: 日下 弘賢(福井県)

第2副審: 本多 淳一郎(福井県)

<p>東京都 (関東)</p>	<p>○ 97</p>	<p>25 — 10 14 — 11 27 — 25 31 — 18 — — —</p>	<p>● 64</p>	<p>大阪市 (近畿)</p>
---------------------	-----------------	--	-----------------	---------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		鈴木 誠	10	0	5	0	1	1	2
5		中川 雄一郎	12	3	1	1	1	3	0
6	*	渡部 健太	8	0	4	0	0	8	1
7	*	渡辺 稜	3	1	0	0	3	7	8
8		川口 司	6	0	3	0	1	7	2
9	*	今村 友紀	2	0	1	0	3	6	0
10		柳澤 波生大	22	0	10	2	1	7	5
11		秋山 昭広	4	0	2	0	0	5	0
12		高橋 一輝	0	0	0	0	0	4	1
13	*	根津 友和	20	0	9	2	1	3	1
14		隈元 凌	2	0	1	0	1	1	0
15	*	富澤 柊斗	8	0	4	0	1	0	3
HC		小嶋 祐希 / TEAM							
		合計	97	4	40	5	13	52	23

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		四方 一孝	0	0	0	0	0	1	0
5	*	河本 健志郎	8	0	4	0	3	7	2
6	*	土井 俊英	15	0	6	3	3	13	0
7	*	坂本 龍哉	22	2	8	0	5	4	6
8	*	高柳 竜佑	2	0	1	0	1	7	4
9		土井 裕行	6	0	2	2	0	2	0
10	*	笹本 琢真	11	3	1	0	1	3	4
11		三浦 誠己	-	-	-	-	-	-	-
12		山口 祥季	-	-	-	-	-	-	-
13		木村 怜於	-	-	-	-	-	-	-
14		渡邊 拓二	0	0	0	0	0	1	0
HC		藤田 景一 / TEAM							
		合計	64	5	22	5	13	38	16

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

連覇を目指す東京都と、準決勝で愛知県との激戦を制した大阪市との対戦。
 第1ピリオドは互いに1-2-2ディフェンスの攻防。まず東京都が次々と速攻を出して速い展開に持ち込み、開始3分で8-2とリードする。対する大阪府は#7の持ち味を封じられ、苦しい展開。東京都は#7を中心としてアップテンポで多彩な攻撃を繰り出し、25-10とした。
 第2ピリオド、東京都の激しいディフェンスに大阪府はミスが続き、開始2分で31-13とされ、タイムアウト。その後大阪府はゴール下で着実に加点していくが、東京都は#10が速攻とミドルシュートを連続で決めるなどして、大阪府の追従を許さず、39-21として前半を終了した。
 第3ピリオド、前半抑え込まれた大阪府#7が開始早々の得点で復活の狼煙を上げる。大阪府は続けて#7のミドルシュートや#10の連続3Pで得点し、本来の持ち味を取り戻す。息を吹き返した大阪府が互角の展開に持ち込むが、東京都も#5の3Pなどで応戦し、66-46で終了。
 第4ピリオド、完全復調した大阪府#7が3Pを沈めて猛反撃を開始。東京都も#5を中心に攻撃の手を緩めず、交代後もフルコートのゾーンプレスで大阪府のミス誘う。大阪府は攻守に渡り八面六臂の大活躍を見せた#7が残り4分で5ファウルの退場となって万事休す。大会を通して層の厚さを見せつけた東京都が、粘り強く戦った大阪府を振り切り、97-64で大会2連覇を成し遂げた。優勝を目指し最後まで全力で戦った両チームに大きな拍手を送りたい。

担当者: 山口 芳弘 ((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本障がい者スポーツ協会

